



クラフトコーナー、夏休みも人気です！

**発行** 宮城県 県民の森管理事務所 TEL&FAX 022-255-8801  
〒981-0121 宮城県宮城郡利府町神谷沢字菅野沢 41  
(指定管理者) 特定非営利活動法人 宮城県森林インストラクター協会

入園料：無料  
利用時間：4月～10月/9時～16時30分  
11月～3月/9時～16時

今年の梅雨明けは例年より2週間も早く、その後は連日暑い日々が続いています。園内は今、虫達が短い夏を元気に過ごしている姿や声を、お盆過ぎまで楽しむことが出来ます。又、花を楽しませてくれた植物は結実し成熟に向かい、日々変化していく貴重な時期で、この様子を散策しながら楽しんでみませんか。(所長：蜂谷仁)

## 引き続き、ツキノワグマにご注意下さい！

5月28日(月)、フィールドアスレチックを含む園内で、立て続けに3件の子グマの目撃情報があり、安全確保のため、アスレチックと周辺遊歩道を当面使用中止としました。その後の目撃情報がないことから、当面の危険性はないとして、6月12日(火)、閉鎖を解除致しました。

以降のアスレチック内での目撃情報はないものの、岩切城址・青麻神社方面・富谷方面等で目撃情報は寄せられており、アスレチックのご利用時や散策の際には、引き続きくれぐれもご注意頂きまして、クマ鈴や笛、ラジオなどを携帯頂きますよう、よろしくお願い致します。

## 今月の けんみんのもり写真館 スタッフが見つけた しぜんのひとコマ



ヤマジノホトトギス (ユリ科)  
山路の杜鵑草

名前は花の斑点がホトトギスの胸の模様似ていることにより。ヤマジは山路で咲いているからでなく、他の種と区別するための記号みたいなのようです。花びらの特徴は水平に開き、白地に紫の斑点が広がり美しいです。(駒野)



キツネノカミソリ (ヒガンバナ科)  
狐の剃刀・金橙

名前は炎のような花をその狐火に、葉は日本剃刀にみだてました。昔の夜は暗く、提灯を持った人が遠くを歩いてもその明かりが点滅し、狐火の様に見えたようです。ヒガンバナ同様全草毒草ですのでご注意ください。(駒野)



カノヅメソウ (セリ科)  
鹿の爪草・別名ダケゼリ

名前は根の形が鹿の爪に似ていることによりですが、他の説もあります。林内のやや薄暗い場所に星を散らばせたような白い花を咲かせています。花は華奢で弱い印象です。(駒野)



コバンジボウシ (ギジカクシ科)  
小葉擬宝珠

名前は若いつぼみの集まりが、橋の欄干につける“ねぎぼうし”のような“擬宝珠(ぎぼうしゆ)”に似ていることにより。若葉はウルイと呼んで、山菜として利用されます。(駒野)

おさかなつかみ体験・スーパーボールつり(金魚入り) 水ヨーヨーつくりもあるよ！



クマよけ笛配布・無料(先着100名様)  
竹水ようかん作り体験 100円(先着50名様)



水ぶる・水でっぽうなど、みずみずしいネイチャークラフトコーナー(参加費:100円～)

8/11 雨天決行

10:00～15:00

会場・宮城県 県民の森中央記念館  
けんみんのもり なつまつり

## 県民の森名木紹介 vol.45 アワブキ



まるで泡が吹き出したような花の様子

燃やすと泡が沢山出る事、花が葉の上に泡のように盛り上がり咲く様子等が、この樹の名前の由来との事ですが、私は断然後者の方がふさわしいと思っています。

写真は1号幹線高森山のカーブ付近にある比較的大きな木です。花の付き方は今一でしたが、園内別の所に後者を裏づけるような咲きっぷりの木がありました。

紹介した樹もいつかは豊かな泡のような花を咲かす事と思いますので、今回の2枚を合わせてご覧きたいと思います。(工藤)



サンコウチョウ (カササギヒタキ科)

巡視中に、セミをくわえたサンコウチョウを発見。が、その姿に何か違和感。頭、小さすぎませんか?! 恐らく繁殖時期を終えて換羽(かんう)中の、頭の羽根や長い尾羽が抜け落ちた後のオスだと思われる。それにしても、まるで別鳥!(入岡)



ちなみに、コエゾゼミはこの黄色いラインが途中で二か所途切れます

エゾゼミ (セミ科)

背中のWマークと黄色い線、全長56～65mmの立派な体つき、赤い目が特徴です。鳴き声はギー、と電線がショートしたような人工的な声で、何の音?と思わず聴き入ってしまいます。抜け殻は3cmほどあり、他のセミに比べその大きさが目立ち、一目瞭然です。(入岡)